



令和元年度

業務実績に関する報告書【概要版】(案)

✓ 業務の実施状況の内訳

業務の全体的な実施状況は、84 項目の年度計画の項目のうち、年度計画を上回って実施している（A 評価）が 8 項目（9.5%）、年度計画どおりに実施している（B 評価）が 72 項目（85.7%）、年度計画をやや遅れて実施している（C 評価）が 4 項目（4.8%）という結果であった。

一部取組みの遅れた項目があるものの、95%以上の項目が A 評価又は B 評価となっており、年度計画を十分に実施していると認められる。

《評価概要》

	項目数	A	B	C	D
➡ 教育研究等の質の向上に関する事項	40	5	34	1	0
➡ 業務運営の改善及び効率化に関する事項	6	1	4	1	0
➡ 財務内容の改善に関する事項	7	0	7	0	0
➡ 自己点検・評価及び情報公開に関する事項	5	0	5	0	0
➡ その他業務運営に関する事項	26	2	22	2	0
合 計	84	8	72	4	0

✓ 特筆すべき成果

➡ 学生表彰制度の設立（No 2、10）

・同窓会等との連携により成績の優秀な学部学生及び優秀な研究発表を行った大学院生を表彰する制度を設立し、学生の学修・研究意欲の向上を図った。

➡ 地域公民館と連携した新たな体験学習の実施（No26）

・地元の 2 公民館との連携のもと新たな体験型学習の場として「大人の科学教室」を開催した。

➡ 教職員・学生の地域貢献活動への参画（No28）

・多くの教職員・学生が地域貢献等の活動に参加した。群馬県警察からは、サイバーパトロールコラボレイターの推薦校として感謝状が授与された。

➡ 簡易電子決裁の導入による事務の効率化（No42）

・既存グループウェアの機能を利用して簡易電子決裁を導入した。年度内に 268 件の使用があり、ペーパーレス化、決裁の迅速化を図ることができた。

➡ 広報戦略の策定（No69）

・広報委員会で広報戦略を策定し、統一感のある広報や多様な広報媒体への拡大を行った。

✓ 取組みの遅れた項目

➡ 学部教育と大学院教育の連携（No 9）

・カリキュラムマップの試作をしたが、学科再編に伴う新学科向けのカリキュラムを検討することとなったため、学科再編と並行して検討することとなった。

➡ 人員計画の策定（No46）

・令和元年度中に学科再編を反映した人員計画を策定する予定であったが、再編の大枠までの検討に留まり、人員計画の策定には至らなかった。

➡ 就職活動の支援（No59、64）

・学内合同企業説明会の開催を予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大の状況等を考慮し中止した。

✓ 主な評価指標の達成状況

指 標	H30 実績	達成目標	R01 実績
学部の入学定員充足率	114.2%	100%以上	109.7%
博士前期課程入学定員充足率	95.8%	100%以上	70.8%
博士学位取得者数※	4 人	15 人以上※	1 人
地域貢献事業への参加学生数	238 人	200 人以上	254 人
外部資金の獲得額	77,570 千円	100,000千円以上	87,647 千円
学部学生の就職率	98.3%	100%	100%
博士前期課程学生の就職率	100%	100%	100%
学部学生の修業年限内退学率	7.0%	5.0%以下	7.8%

※「博士学位取得者数」の達成目標は計画期間累計の人数。